



各地商工会議所で使用されている商工会議所のマークの下に、ゴシック体でデザインしたシンプルで馴染み易いロゴマークになっています。ロゴは各地商工会議所青年部の英語名 (Young Entrepreneurs Group) の頭文字をとったものですが、同時に各地商工会議所青年部の持つコンセプト、若さ・情熱・広い視野をもった経営者 (Youth Energy Generalist) を表現しています。

日本 YEG VOL.48



平成20年9月号

発行 日本商工会議所青年部  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-2-2  
日本商工会議所 中小企業振興部内  
TEL 03-3283-7847 <http://yeg.jp/>  
広報委員会  
編集 林 隆男  
副委員長 國武正義 / 小川智之  
委員 藪田 学 / 梶田伊佐雄 / 村中洋祐 / 下田 剛  
山下元一郎 / 山村玲二 / 吉田修 / 樋口雅之  
河合幸雄 / 度会尚志 / 谷本保明 / 笹原司和  
鳥越清和 / 鈴木一生 / 後藤英彦

## ごあいさつ



日本商工会議所青年部(日本YEG)  
平成20年度会長

工藤 哲弘

平成20年度

スローガン

Let's TRY! YEGスクラムで、  
ビジネスフィールドを突っ走れ!

皆様、こんにちは。平成20年度日本YEG会長を務めます大分YEGより出向しております工藤哲弘です。

皆様もご承知のようにわれわれ中小零細企業の現況は、原油、原材料価格の高騰が止まらない一方で、それを価格に十分反映ができない企業も多く、個人消費の減退も加わり、一段と厳しさを増してきました。また商工会議所を取り巻く環境も変化し、地域の経済団体として地域になくてはならない自立した団体としての真価を問われています。このような大変厳しい状況におかれている今こそ、われわれ地域の若手企業人で組織するYEGには、積極果敢な行動即ちレッツトライの気概とYEGスクラムが必要であると力を込めて申し上げたいと思います。

私は、今春全国9ブロックをまわり、できる限り多くのYEGメンバーと膝を突き合わせながら話をするように努めました。そのたびにYEGメンバーやその活動の素晴らしさに数多く触れさせていただき、改めて全国402YEG2万6千人の仲間がこのネットワークを今以上に活かし情報を共有しもっと繋がったなら、ビジネス、まちづくり、地域振興等を推進していく大きな力

になると強く感じました。繋がり方は時や場所そして状況により違いますが、繋がることによって一人の微力な力が国をも動かす大きな力にもなり、メンバー一人ひとりまたは地域というそれぞれの個が光り輝く存在にもなると確信しています。

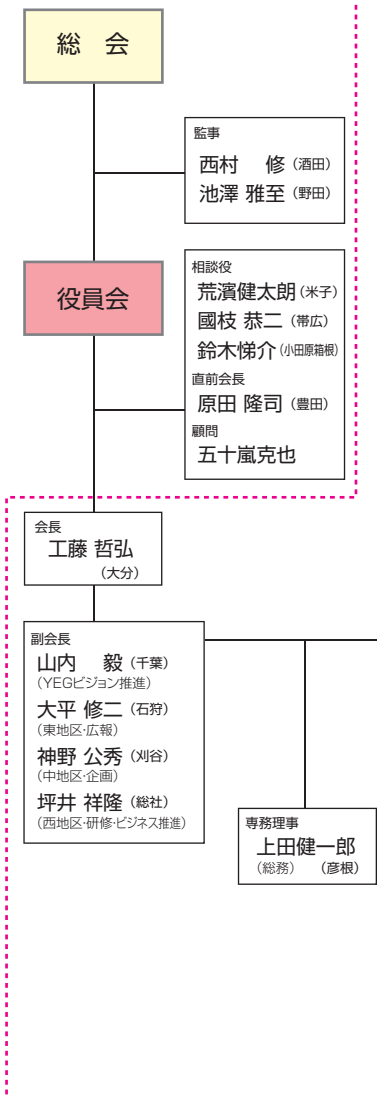
会長所信にも記しましたが、いつの時代も若さと情熱をもって積極果敢に夢にチャレンジする青年が地域に活力を与えます。地域の青年経済人として、地域の未来に責任をもったYEGとして、商工会議所の一翼を担うわれわれYEGの活動が今後ますます地域にとって重要なものになると考えます。

本年度スローガン「Let's TRY! YEGスクラムで、ビジネスフィールドを突っ走れ!」のもと、事業もひとつひとつ具現化しております。YEG事業データベース・ご縁満開ビジネスサイトのリニューアル、YEGビジネスプランコンテスト・翔生塾の開催、全国ビジネス交流会の開催等々、単会、道府県連、ブロックの活性化やスクラムを組むための環境づくり、そして全国ネットワークを活用したビジネスチャンスの提供やビジネス支援を進め、地域で汗するYEGに利用していただき役に立つ事業をこれからも推進していきます。

また、日本商工会議所が6月に発表された商工会議所環境行動計画、野中ともよ氏との対談で話し合った地球環境など環境に関する取り組みについても日本YEGとして検討していきます。

これからの残された時間も日本YEG出向者とともに精一杯の活動を続けていきますので、引き続き皆様のご支援ご協力を御願い致します。ありがとうございました。

# 出向者組織図



東地区	北海道ブロック代表理事 坂本 和繁 (滝川)	新川 勝久 (岩見沢)
	東北ブロック代表理事 武輪 俊彦 (八戸)	清藤 崇 (弘前) 高橋 潤吉 (花巻) 本山 泰督 (仙台) 数田 学 (大館) 片山 朋彰 (米沢) 宮尾 隆司 (白河)
	関東ブロック代表理事 塚田 義孝 (真岡)	加倉井 巧 (水戸) 秋山 康雄 (真岡) 大谷 祐三 (太田) 山田 博之 (川口) 岩田 直人 (千葉) 福森 真司 (秦野) 河村 卓利 (静岡)
中地区	北陸信越ブロック代表理事 荒木 利文 (滑川)	富永 哲臣 (新発田) 本川祐治郎 (水見) 榊田伊佐雄 (珠洲) 横山 彰成 (塩尻)
	東海ブロック代表理事 多田 道子 (関)	山田 俊文 (関) 山田 慎二 (春日井) 鈴木 成宗 (伊勢)
西地区	近畿ブロック代表理事 大浦 崇 (橋本)	村中 洋祐 (福井) 平井 湖 (大津) 田村 元起 (京都) 林 和利 (真面) 長田 有弘 (三木) 辻本 和也 (生駒) 油谷 収造 (橋本)
	中国ブロック代表理事 黒神 充久 (徳山)	樋野 泰広 (米子) 下田 剛 (江津) 頼経 正 (総社) 佐竹 孝司 (東広島)
	四国ブロック代表理事 山条 真嗣 (坂出)	高橋 良典 (徳島) 兵頭 弘章 (松山) 山下元一郎 (高知)
	九州ブロック代表理事 高木 伸二 (荒尾)	國武 正義 (久留米) 有浦 定幸 (伊万里) 早田 圭介 (平戸) 吉田 和弘 (玉名) 山村 玲二 (佐伯) 中村 徳之 (都城) 有島 範明 (奄美大島) 宮里 敏彦 (宮古島)
常設委員会	総務委員会 委員長 小林 晃 (須坂)	田口 孝治 福富 正浩 山田 博之 岩田 直人 大鷹 紀信 横川 彰成 石原 泰守 山内 名節 中山 松村 榊野 泰広 佐川 正純 高橋 良典 有浦 定幸 中村 徳之 坂井 一欽 一欽 和也
	企画委員会 委員長 甲斐 信孝 (大分)	本山 泰督 秋山 康雄 山内 真一 中山 彰人 坂井 一欽 澤野 公一 山田 俊文 宇田 毅 村田 守 辻本 和也 油谷 収造 山崎 孝一 宮本 宮里 敏彦 宮本 貴光 加藤 秀章
	研修委員会 委員長 水野久美子 (浜松)	新田 秀悦 片山 朋彰 滝田 吉宏 大戸 裕剛 星野 大 小野 学 福森 真司 河村 卓利 小杉 素充 本川祐治郎 稲手 彰穂 神谷 篤 小森宇生也 松林 信吾 村山 智美 神谷 文一 河合 孝浩 鈴木 成宗 北口 晴樹 河本 能久 林 和利 田村 耕二 兵頭 弘章 田部井優介 川田 昌義
	広報委員会 委員長 林 隆男 (宮若)	数田 学 吉田 修 樋口 雅之 小川 智之 河合 幸雄 榊田伊佐雄 村中 洋祐 山下元一郎 國武 正義 鳥越 清和 後藤 英彦 山村 玲二
	ビジネス推進委員会 委員長 井谷 智子 (吹田)	清藤 崇 宮尾 隆司 川崎 亮一 大谷 富永 祐三 岡田 秀一 井野口 豊 加瀬 久照 平井 湖 富永 哲臣 後藤 文夫 山田 慎二 藤川 英典 英典 清水 森 太嗣 大井手 豊 田中 宏彦 佐竹 孝司 山本 敏明 清水 森 山岡 秀樹
特別委員会 YEGビジョン推進委員会 委員長 尾山謙二郎 (富山)	新川 勝久 高橋 潤吉 相田 晃輔 佐藤 和統 加倉井 巧 守野 洋史 田村 元起 藤原 浩晃 長田 有弘 西居 基晴 國澤 和人 吉山 壽一 吉田 和弘 有島 範明 桑野 芳紀	

\*点線枠内は議決権者

## 2008年度年間スケジュール

- 4月**
  - 4月18日(金) 第183回役員会(大分県・大分) 同 工藤哲弘激励会
  - 4月19日(土) 九州ブロック会長会議(熊本県・荒尾)
  - 4月25日(金) 東北ブロック会長会議(青森県・八戸)
- 5月**
  - 5月10日(土) 北海道ブロック会長会議(北海道・滝川)
  - 5月17日(土) 関東ブロック会長会議(栃木県・真岡)
  - 5月23日(金) 第184回役員会(滋賀県・大津)
  - 5月24日(土) 近畿ブロック会長会議(大阪府・八尾)
  - 5月31日(土) 四国ブロック会長会議(香川県・坂出)
- 6月**
  - 6月6日(金) 中国ブロック会長会議(山口県・周南)
  - 6月14日(土) 北陸信越ブロック会長会議(富山県・滑川)
  - 6月20日(金) 東海ブロック会長会議(三重県・桑名)
- 7月**
  - 7月11日(金)~12日(土) 第185回役員会(東京)
- 8月**
  - 8月16日(土)~22日(金) 第52回会員総会(WEB)
  - 8月22日(金)~23日(土) 第186回役員会(東京)
- 9月**
  - 9月5日(金)~6日(土) 中国ブロック大会(山口県・周南)
  - 9月6日(土)~7日(日) 四国ブロック大会(香川県・坂出)
  - 9月12日(金)~13日(土) 近畿ブロック大会(和歌山県・橋本)
  - 9月19日(金)~21日(日) 東北ブロック大会(福島県・須賀川)
  - 9月25日(木)~27日(土) 北陸信越ブロック大会(富山県・滑川)

- 10月**
  - 10月3日(金)~5日(日) 北海道ブロック大会(北海道・岩見沢)
  - 10月9日(木)~11日(土) 九州ブロック大会(熊本県・荒尾)
  - 10月17日(金)~18日(土) 関東ブロック大会(栃木県・真岡)
  - 10月24日(金)~25日(土) 東海ブロック大会(岐阜県・関)

- 11月**
  - 11月6日(木)~9日(日) 第28回全国大会びわ湖大津大会(滋賀県・大津)
  - 11月6日(木)~8日(土) 第187回役員会等(滋賀県・大津)
  - 11月7日(金) 第53回会員総会(滋賀県・大津)

- 12月**
  - 12月5日(金)~6日(土) 第188回役員会 (東京)

### 2009年

- 1月**
  - 1月30日(金)~31日(土) 平成21年度役員予定者会議(静岡県・浜松・カリアック)
- 2月**
  - 2月19日(木)~21日(土) 第26回全国会長研修会浜松会議(静岡県・浜松)
  - 2月19日(木)~21日(土) 第189回役員会等(静岡県・浜松)
  - 2月21日(土) 第54回会員総会
- 3月**
  - 3月14日(土) 第190回役員会(滋賀県・彦根)

## 正副会長専務理事

	会 長 (第26代) <b>工藤 哲弘</b> (大分YEG)		副会長 (YEGビジョン推進 委員会担当、会長候補者) <b>山内 毅</b> (千葉YEG)		副会長 (東地区、広報委員会担当) <b>大平 修二</b> (石狩YEG)
	副会長 (中地区、企画委員会担当) <b>神野 公秀</b> (刈谷YEG)		副会長 (西地区、研修委員会、 ビジネス推進委員会担当) <b>坪井 祥隆</b> (総社YEG)		専務理事 (総務委員会担当) <b>上田健一郎</b> (彦根YEG)

## ブロック代表理事

東地区		北海道ブロック代表理事 <b>坂本 和繁</b> (滝川YEG)		東北ブロック代表理事 <b>武輪 俊彦</b> (八戸YEG)		関東ブロック代表理事 <b>塚田 義孝</b> (真岡YEG)	
	中地区		北陸信越ブロック代表理事 <b>荒木 利文</b> (滑川YEG)		東海ブロック代表理事 <b>多田 道子</b> (関YEG)		近畿ブロック代表理事 <b>大浦 崇</b> (橋本YEG)
		西地区		中国ブロック代表理事 <b>黒神 充久</b> (徳山YEG)		四国ブロック代表理事 <b>山条 真嗣</b> (坂出YEG)	

## 直前会長、監事、相談役

	直前会長 (平成19年度会長) <b>原田 隆司</b> (豊田YEG)		監 事 <b>西村 修</b> (酒田YEG)		監 事 <b>池澤 雅至</b> (野田YEG)
	相談役 (平成17年度会長) <b>荒濱健太郎</b> (米子YEG)		相談役 (平成18年度会長) <b>國枝 恭二</b> (帯広YEG)		相談役 (平成15年度会長) <b>鈴木 悌介</b> (小田原箱根商工会議所)

# 総務委員会

「あたりまえのことはあたりまえに」  
そして「変えるべきは変える勇気をもつ」

総務委員長  
**小林 晃** (須坂 YEG)



地元の YEG に入会して早 20 年。徐々にその魅力に引き寄せられ YEG 活動に費やす時間が増えてまいりました。その中で、最近になってようやく、YEG は商工会議所活動の一翼を担い、次代への先導者としての責任を負っているという事を身に沁みて実感するようになってまいりました。私は「YEG の活動を通して地域に貢献し、自企業を発展させそれがまた地域を支える力になる」と信じて YEG 活動に力を注いでいます。全国の 2 万 6000 人のメンバーも同じ気持ちでいると思います。そして自分の足元である家庭、企業、地元 YEG は何より大切に守り、発展させなければなりません。日本 YEG という組織も地元の YEG と同じように、組織運営という基礎を支えることが重要です。私は日本 YEG 総務委員長として、全国の YEG 会員が全力で商工会議所活動に打ち込むことができるよう、あたりまえのこと、あたりまえに「そして変えるべきは変える勇気をもつ」組織運営を行うことで、基礎を支え、各地 YEG がより大

きな成果を出すことができるよう努力をしたいと考えております。私は各地 YEG の健全な発展に貢献するためには、それぞれの YEG が交流と連携をする仕組みやきつかけが必要だと考えています。そして、日本 YEG は各地 YEG の連合体組織として、各地 YEG が必要とするときに必要な情報が双方向に流れるような仕組み作りをしないかなどはなりません。総務委員会では「YEG の強化」のためのひとつの有効なツールである YEG 事業データベースを、さらに使いやすく活用していただけるようリニューアルしていきます。登録の簡素化やカテゴリの見直し、デザインの変更やホームページとの連携、また事例の紹介等により、現在登録されている 500 を超える各地 YEG の事業情報をさらに増やし、そしてその共有を推進し、進め、各地 YEG の交流と連携の第一歩となるよう努力してまいります。各地 YEG がそれぞれの地域を元気にしているとすれば、それらの連携により全体の力を強化させ、国全体の元気につなげたいと考えております。創意と工夫、勇気と情熱をもって、全国から集まった紳士と才女溢れる委員会メンバーとともに、行動してまいります。ご協力、協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。



## 委員

- |       |               |
|-------|---------------|
| 山田 博之 | 川口 YEG (埼玉)   |
| 岩田 直人 | 千葉 YEG (千葉)   |
| 横山 彰成 | 塩尻 YEG (長野)   |
| 樋野 泰広 | 米子 YEG (鳥取)   |
| 高橋 良典 | 徳島 YEG (徳島)   |
| 有浦 定幸 | 伊万里 YEG (佐賀)  |
| 中村 徳之 | 都城 YEG (宮崎)   |
| 田口 孝治 | 古河 YEG (茨城)   |
| 福富 正浩 | 栃木 YEG (栃木)   |
| 大鷹 紀信 | 浜松 YEG (静岡)   |
| 石原 泰守 | 各務原 YEG (岐阜)  |
| 名節 弘康 | 岡崎 YEG (愛知)   |
| 松村 裕玄 | 大和高田 YEG (奈良) |
| 佐川 正純 | 松山 YEG (愛媛)   |
| 桜木 寛  | 大分 YEG (大分)   |

# 企画委員会

全国各地の大会等の  
成功を目指して

企画委員長  
**甲斐信孝** (大分 YEG)



企画委員会とは、全国各地で開催される YEG の総会および大会に関する運営のお手伝いを、開催地 YEG と連携して行う委員会でございます。このような大会は、各地 YEG 間を跨いでの交流や研修の場であり、また開催地の観光業界や飲食業界をはじめとする地域経済活性化の一助となるっており、非常に有意義といえます。今年度も 9 月から 10 月にかけて、北は北海道見沢、東北は福島県須賀川、関東は栃木県真岡、北陸信越は富山県滑川、東海は岐阜県関、近畿は和歌山県橋本、中国は山口県周南、四国は香川県坂出、九州は熊本県荒尾にて、それぞれのブロック大会が開催されます。また、11 月には滋賀県大津にて、全国の会員一堂に集まる全国大会が、そして来年 2 月には静岡県浜松にて、全国各地の YEG 会長たちが集まる研修会が開催されます。開催を予定している地域の YEG の皆さんは、大会の盛会を目指し、今から準備に余念なく、またご自分たちのお仕事の時間をやり繰りしながら準備の会議を重ねていってまいります。つきましては、そのような YEG 会員の皆さんのため、地元商工会議所の皆様におかれましては、お力添えをお願い申し上げます。私自身も、平成 18 年度に地元大分にて、全国大会を開催させていただきました。当時、開催に当たり地元商工会議所の諸先輩方に、多大なお力添えをいただきました。開催地の YEG の皆さんと共に、日本 YEG の企画委員会につきましても、今年度 1 年間よろしくお願ひ申し上げます。



## 委員

- |       |              |
|-------|--------------|
| 本山 泰督 | 仙台 YEG (宮城)  |
| 秋山 康雄 | 真岡 YEG (栃木)  |
| 山田 俊文 | 関 YEG (岐阜)   |
| 辻本 和也 | 生駒 YEG (奈良)  |
| 油谷 収造 | 橋本 YEG (和歌山) |
| 宮里 敏彦 | 宮古島 YEG (沖縄) |
| 山内 真一 | 静岡 YEG (静岡)  |
| 中山 彰人 | 浜松 YEG (静岡)  |
| 坂井 一欽 | 新津 YEG (新潟)  |
| 澤野 公一 | 富山 YEG (富山)  |
| 宇田 毅  | 大津 YEG (滋賀)  |
| 村田 守  | 奈良 YEG (奈良)  |
| 山崎 孝一 | 大田 YEG (島根)  |
| 宮本 治郎 | 徳山 YEG (山口)  |
| 宮本 貴光 | 坂出 YEG (香川)  |
| 加藤 秀章 | 松山 YEG (愛媛)  |
| 渡辺 誠一 | 新居浜 YEG (愛媛) |
| 本多 輝大 | 長崎 YEG (長崎)  |

# 研修委員会

想いを実現し、  
次代のYEGスタンダードへ！

研修委員長

水野久美子（浜松YEG）



研修委員会では、会長所信にもあります「真の経営者」としての資質を研く、学びの場を提供したいと考えています。一つひとつの活動における共通の目的として「信頼の構築」を掲げ、信頼関係があつてこそ最良のビジネスにながつていくことを実感していただきたいと思ひます。そこに、「心を込めて、手と手を携え(Hearts Hands)」、行動から感動への後押しを可能にし、YEGメンバー同士の絆を深めて、全国400単会のYEGにフィードバックできるような事業を開催していくという「創造」と「変革」の役割を担います。また今後のスタンダードになるべき研修プログラムの構築や、全国会長研修会主管地との連携も期待されています。YEGとして活動するからこそ、貴重な出会いがあります。一つひとつの事業に一生懸命取り組むだけでなく、その過程を大切にすることで、互いの信頼関係が構築され、心が通じます。その一つひとつの積み重ねによって、素晴らしい仲間を作りましょう。

## 委員



- |           |           |            |            |          |           |           |           |           |           |           |            |               |           |           |           |           |           |           |           |           |            |           |
|-----------|-----------|------------|------------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|
| 川田昌義      | 田部優二      | 河北耕久       | 河合晴樹       | 神谷孝一     | 村山丈美      | 松林智也      | 小森信吾      | 小森生篤      | 稲手彰徳      | 稲手素充      | 小野野学       | 星野裕大          | 大滝吉剛      | 新田圭宏      | 早田圭悦      | 兵頭弘章      | 林和利       | 鈴木成宗      | 本川治郎      | 河村卓利      | 福森真司       | 片山朋彰      |
| 高知YEG(高知) | 松山YEG(香媛) | 北大阪YEG(大阪) | 八日市YEG(滋賀) | 津YEG(三重) | 豊田YEG(愛知) | 豊川YEG(愛知) | 半田YEG(愛知) | 岡崎YEG(愛知) | 加賀YEG(石川) | 浜松YEG(静岡) | 平塚YEG(神奈川) | 小田原箱根YEG(神奈川) | 郡山YEG(福島) | 郡山YEG(宮城) | 平戸YEG(長崎) | 松山YEG(愛媛) | 箕面YEG(大阪) | 伊勢YEG(三重) | 水見YEG(富山) | 静岡YEG(静岡) | 秦野YEG(神奈川) | 米沢YEG(山形) |

# 広報委員会

情報発信の窓口として  
身近な存在に

広報委員長

林 隆男（宮若YEG）



広報委員会では、日本全国のYEGメンバーが、地域のオピニオンリーダーとして、真の経営者として、ネットワークとブランド力を最大限に生かし、YEGの絆をより強固に結び、商売を語り合い、情報を共有できるよう、ビジネスフィールドを広げる情報を発信していきます。そして、困ったときは心を支えあえる、仕事と人生の仲間づくりに貢献します。そのためには、誰でも興味があくように、発信する情報の内容を充実させ、情報の窓口として、身近な存在になりたいと考えています。具体的には、平成20年度版日本YEGホームページのリニューアル、外部の新聞や雑誌への情報発信などです。また、YEGメンバー向けにも、各種情報提供、バナー広告の充実などの活動も行っていますので、ご協力をお願いします。

## 委員



- |           |           |           |           |           |           |             |           |           |           |           |            |           |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 後藤英彦      | 鈴木一生      | 鳥越清和      | 笹原司和      | 谷本保明      | 度会尚志      | 河合幸雄        | 小川智之      | 樋口雅之      | 吉田修       | 山村玲二      | 國武正義       | 山下元一郎     | 下田剛       | 村中洋祐      | 梶田伊佐雄     | 藪田学       |
| 大分YEG(大分) | 総社YEG(岡山) | 彦根YEG(滋賀) | 長浜YEG(滋賀) | 鳥羽YEG(三重) | 豊川YEG(愛知) | 茅ヶ崎YEG(神奈川) | 千葉YEG(千葉) | 上尾YEG(埼玉) | 館林YEG(群馬) | 佐伯YEG(大分) | 久留米YEG(福岡) | 中村YEG(高知) | 江津YEG(島根) | 福井YEG(福井) | 珠洲YEG(石川) | 大館YEG(秋田) |

# ビジネス推進委員会

## 経営力の向上に寄与

ビジネス推進委員長  
井谷智子（吹田YEG）



本年度、ビジネス推進委員会では改善・改革・改新と時代に合わせて変化できるよう、中小企業の生き残る方法や手段を互いに学び、YEGメンバー間で実践できるビジネスでの連携を目指します。そこでも、ビジネス交流会を開催し、会社の規模や地域の違う同業種、異業種間でさまざまな意見を交換できる場を提供します。インターネットを利用した事業所のPRやショッピングモールなどの商品販売も視野に入れた、IT活用セミナーなども開催します。さらに、地域を越えたビジネスマッチングや産業フェアへの出展情報などを公開し、他地域との交流促進を図っていきます。日本全国でビジネスの輪を広げていけば、それぞれの事業規模も事業目標もステップアップできる可能性は大いにあります。また、中小企業にとってウィークポイントである資金面でも、金融商品の紹介など当委員会がバックアップしていき、それぞれの事業所の体力づくりに貢献したいと思います。同世代の経営者2万6000人の輪は、励みとなり、力となり、希望となり、経営力の向上にも寄与できると思います。

### 委員



- |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |       |       |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |     |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 森山   | 山岡   | 清水   | 藤川   | 金田   | 田中   | 大井   | 菊川   | 加瀬   | 後藤   | 鈴木   | 川崎    | 井野    | 岡田   | 鈴木   | 頼経   | 山田   | 佐竹   | 平井   | 富永   | 大谷   | 宮尾   | 清藤   |     |
| 正行   | 敏明   | 秀樹   | 明人   | 英典   | 年雄   | 宏彦   | 太嗣   | 久照   | 文夫   | 大介   | 亮一    | 豊     | 秀一   | 涼子   | 慎二   | 孝司   | 湖    | 哲臣   | 祐三   | 隆司   | 崇    |      |     |
| 大分   | 今治   | 新見   | 井原   | 加古川  | 北大阪  | 吹田   | 吹田   | 須根   | 津    | 須坂   | 小田原   | 相模原   | 佐倉   | 太田   | 米沢   | 総社   | 春日井  | 東広島  | 大津   | 新発田  | 太田   | 白河   | 弘前  |
| YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG   | YEG   | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG |
| (大分) | (愛媛) | (岡山) | (岡山) | (兵庫) | (大阪) | (大阪) | (大阪) | (滋賀) | (三重) | (長野) | (神奈川) | (神奈川) | (千葉) | (群馬) | (山形) | (岡山) | (愛知) | (広島) | (新潟) | (群馬) | (福島) | (青森) |     |

# YEGビジョン推進委員会

## 地域から入魂メッセージを発信

YEGビジョン推進委員長  
尾山謙二郎（富山YEG）



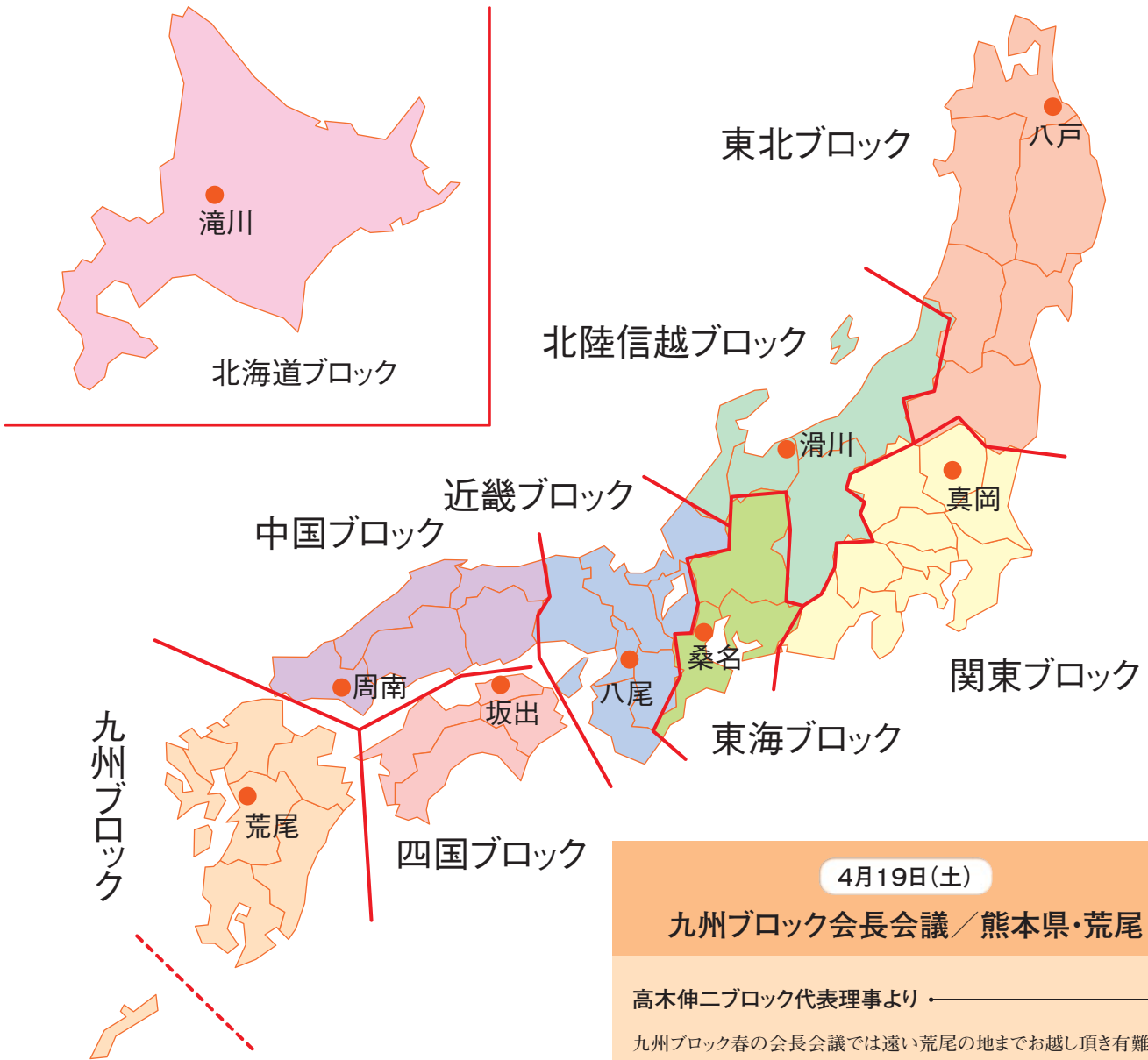
全国2万6000人のYEGの仲間たちは、「自分たちを育ててくれたのは地域社会である。まず自らが元気になることで地域社会が元気になる、地域社会が元気になることで自らがより元気になる」という気概を持って、自企業の発展と地域社会の活性化に取り組んでいます。YEGビジョン推進委員会では、こうした仲間たちの声とエネルギーを集約し、地域からの入魂メッセージを発信していこうと考えています。具体的には、現行制度に対する問題意識を集約して底辺に流れる共通認識を抽出し、テーマを絞り込んで政策を練り上げ、日商を通じて提言していこうと思います。また、地域活性化に関する国の制度を、人・モノ・金・情報の分野ごとに整理して全国のYEGメンバーにフィードバックしていきます。そして、日本国内だけではなく国外とも連携していくためアジア商工会議所連合会などと交流し、日本YEGの国際的な立ち位置と今後の方向性を模索します。われわれYEGは、大いなる田舎もんの集まりです。地域間格差が広がる中、いかに、田舎もんと土力が力を合わせ、共生できるかを真剣に考える必要があると思います。

### 委員



- |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |       |      |      |      |      |      |       |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|-------|
| 吉山   | 國澤   | 桑野   | 藤原   | 守野   | 西居   | 平松   | 千賀   | 浜    | 深澤   | 佐藤   | 相田   | 有島    | 吉田   | 長田   | 田村   | 加倉   | 高橋   | 新川    |
| 壽一   | 和人   | 芳紀   | 浩晃   | 洋史   | 基晴   | 賢介   | 隆治   | 尚    | 圭司   | 和統   | 晃輔   | 範明    | 和弘   | 有弘   | 元起   | 巧    | 潤吉   | 勝久    |
| 熊本   | 高知   | 坂出   | 北大阪  | 草津   | 大津   | 豊橋   | 各務原  | 富山   | さいたま | 下館   | 米沢   | 奄美大島  | 玉名   | 三木   | 京都   | 水戸   | 花巻   | 岩見沢   |
| YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG   | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG  | YEG   |
| (熊本) | (高知) | (香川) | (大阪) | (滋賀) | (滋賀) | (愛知) | (岐阜) | (富山) | (埼玉) | (茨城) | (山形) | (鹿児島) | (熊本) | (兵庫) | (京都) | (茨城) | (岩手) | (北海道) |

# 春の会長会議 ①



## 春の会長会議が無事終了!!

全国9ブロックごとに順次開催される春の会長会議が、4月19日熊本県荒尾市で行われた九州ブロック会長会議を皮切りにスタートし、6月20日三重県桑名市での東海ブロック会長会議で全日程が無事終了した。このブロック会長会議とは、各単会会長を対象に、日本YEG平成20年度事業の全体概要を説明するほか、YEGメンバーのビジネスの見直しや自分の新しいビジネスを生み出すチャンスの創出を行うことを目的とした「YEGビジネスプランコンテスト」や全国各地のYEGメンバーが各々の企業情報をもとに相互の企業活動における新たな発見を求めて交流する「全国ビジネス交流会」など、各委員会が推進している事業を紹介している。また、日本YEGと各単会会長が交流する大変貴重な場としても重要な会議であり、毎年4月下旬から6月上旬にかけて開催されている。今年の特徴としては、会員総会をWEB上で行うため独自のグループウェアであるエンジェルタッチの会長アカウント引継ぎや平成21年度から実施する年間事業サイクルの変更の説明がされ、ホームページの利用率向上に向けた説明や中小企業施策の事例紹介など「YEGスクラムの強化」「ビジネスフィールドの拡大」「真の経営者・リーダーづくり」の平成20年度事業テーマに沿って進められた。その他、各ブロックではそれぞれの総会や懇親会、講演会など独自の事業を併せて開催された。

4月19日(土)

### 九州ブロック会長会議 / 熊本県・荒尾

高木伸二ブロック代表理事より

九州ブロック春の会長会議では遠い荒尾の地までお越し頂き有難うございました。

会長会議は、直接日本YEG役員の生の声を聞ける場でもあり九青連のメンバーもたいへん勉強になり今後の単会運営又自社の経営に大変参考になりました。

また夜も2次会3次会と遅くまで荒尾の夜にお付き合いいただき感謝いっぱいです。

全国YEGのメンバーと遅くまで酒を酌み交わし熱い思いを語ったり、冗談を言ったりホントに楽しい夜でした。

ちなみに、僕の45才の誕生日だったので、忘れられない日になりました!

10月の九州ブロック大会ではおもてなしの心で皆様をお迎えしたいと思います。

荒尾大会で皆様とお会いできることを楽しみにしております



#### 参加者数

九青連定時総会 97名

春の会長会議 145名

## 春の会長会議②

4月25日(金)

### 東北ブロック会長会議／青森県・八戸

東北ブロック商工会議所青年部 平成20年度通常総会並びに会長会議が、4月25日約120名の参加のもと青森県八戸市の八戸グランドホテルにて開催されました。総会では平成19年度事業報告並びに収支決算、平成20年度補正予算が審議された他、YEGビジネス活動支援委員会で東北ブロック内会員間のビジネスマッチングに寄与すべく、ブロック内約3200名のビジネス情報を加えたリストを作成するため協力を得たい旨、また会津若松YEGからジュニア・エコノミー・カレッジ事業で平成19年度日本YEG大賞を受賞した旨報告がありました。

引き続き行われた会長会議では日本YEGの事業説明を受けた意見交換の場において、平野善志雄福島県連会長(郡山YEG)より、日本YEGの提言活動として中小企業の私募債発行基準の緩和について取り上げていただきたいとの提案がありました。日本YEG尾山謙二郎YEGビジョン推進委員長(富山YEG)より、「提案を歓迎する。内容を確認した上協議したい。」との発言があり、東北ブロックとして意見を取りまとめた上、日本YEGへ提案することとなり、予定した時間いっぱいを使用して終了しました。

5月10日(土)

### 北海道ブロック会長会議／北海道・滝川

5月10日、北海道ブロック商工会議所青年部 平成20年度通常総会並びに会長会議が約90人の参加のもと滝川市のホテルスエヒロで開催されました。総会は平成19年度の事業報告と決算報告が前年度の舩川会長より、平成20年度の事業計画と収支予算が藤池会長よりそれぞれ提案され、名寄YEGの新規入会、YEGが創る夢ある北海道会議の継続などを含め重要議案が満場一致で可決されました。総会終了後、日本商工会議所の中村専務より「商工会議所青年部に期待すること」と題して記念講演があり、参加した会員は熱心に聞き入っていました。

懇親会では、会長会議にも増して北海道の各単会と日本YEGの交流、意見交換が活発に行われ、また、大津の全国大会と岩見沢の北海道ブロック大会のPRで大いに盛り上がりました。



5月17日(土)

### 関東ブロック会長会議／栃木県・真岡

関東ブロック商工会議所青年部連合会の第1回定時総会及び第1回会長会議は、5月17日(土)に栃木県真岡市のグランドホテル静風において開催された。登録総数は174名、79の単位YEGの登録を得た。

定時総会では、ブロックの役員一部変更、事業報告承認、収支決算承認をはじめ8つの議案が上程され、特に意見も出ることなく、全て全会一致で承認された。今回の議決により22年度のブロック大会開催地が群馬県で行われることが決まった。

その後、会長会議が開催され、日本YEGからの事業の全体概要説明、委員会説明があった。

懇親会では、各テーブルに日本YEGのメンバーを配置し、メンバー同士の交流を図るとともに、余興として水戸YEGのメンバーがベリーダンスを披露するなど、大いに盛り上がりを見せたところである。

今回のブロック会長を主管した真岡YEG所属の塚田義孝ブロック代表理事は「日本YEGの説明は非常にわかりやすく、非常に評判が良かった。日本YEGの事業をよく理解してもらえたと思う。今後は、10月17日・18日に開催されるブロック大会に向け、日本YEGと協力しながら、頑張っていきたい。」と熱意の一部を垣間見せた。

5月24日(土)

### 近畿ブロック会長会議／大阪府・八尾

去る5月24日、大阪府の八尾商工会議所において平成20年度近畿ブロック商工会議所青年部連合会総会並びに第1回会長会議が開催されました。冒頭に主催者を代表して近畿ブロック連合会の大浦会長、開催地の八尾YEGの江口会長から挨拶があり、ご来賓を代表して八尾商工会議所 塚谷会頭からご祝辞をいただきました。会議では、平成19年度事業報告並びに収支決算について大西前会長から説明があり、原案通り承認されました。平成19年度近畿ブロック大会亀岡大会の開催報告並びに収支決算の報告があり、いずれも原案通り承認されました。

次に平成20年度当連合会スローガン並びに基本方針、事業計画、収支予算について、大浦会長より説明があり、全会一致で承認されました。

最後に、平成21年度近畿ブロック会長会議開催地並びに平成22年度近畿ブロック大会開催地について、滋賀県草津YEGからの届出があることを説明の後、拍手をもって承認され、木村草津YEG会長より挨拶がありました。

暫時休憩の後、同会場で第1回会長会議が開かれました。

その後、連合会事業講演会として、講師に和歌山県経営者協会会長の中野幸生氏をお迎えし、「変革期に求められる経営者としての心得」と題した講演会を約1時間にわたり開催しました。

夕刻から、場所を八尾グランドホテルに移動して懇親会が開催され、アトラクションもあり、全国大会・全国会長研修会のPR隊も大勢駆けつけ、参加者相互の親睦交流が図られました。



## 春の会長会議 ③

5月31日(土)

### 四国ブロック会長会議／香川県・坂出

四国ブロック商工会議所青年部連合会の定時総会及び第1回会長会議が、5月31日(土)に香川県坂出市のサン・アンジェリーナにおいて開催された。登録総数は118名。定時総会では、前年度の事業報告並びに収支決算、本年度の役員選任、事業計画並びに収支予算の件、をはじめ6つの議案が上程され、承認された。今回の議決により平成21年度のブロック大会が高知県宿毛市で開催されることが決まった。その後、会長会議が開催され、日本YEGから平成20年度の事業の全体概要説明、委員会説明があった。懇親会は、瀬戸大橋を一望できる素晴らしいロケーションの中で行われ、各テーブルに日本YEGのメンバーを配置し、メンバー同士の交流を図ることができた。

#### 山条真嗣ブロック代表理事より

平成20年度四国ブロック代表理事の山条真嗣です。去る5月31日に四国ブロック会長会議に工藤会長はじめ日本YEGの役員・専門委員の方々また四国ブロック内から多くのメンバーの参加を頂き有難う御座いました。またプロ代の友情でご参加頂いた高木・大浦両プロ代に感謝と友情を感じました。春の会長会議は本年度の日本YEGの事業方針・各委員会の活動等が直接四国のメンバーに伝える場としてとても良かったと思います。次は、四国ブロック大会坂出大会に向けて「四国は、一つ」を合言葉に頑張っていきたいと思っておりますので、是非多くの方々の参加をお願い致します。

6月6日(金)

### 中国ブロック会長会議／山口県・周南

去る6月6日、山口県周南市の遠石会館において平成20年度中国ブロック商工会議所青年部連合会総会並びに第1回会長会議が開催され、中国ブロックの青年部から会長並びに事務局、日本YEGから工藤会長以下の役員・専門委員等、総勢144人が集いました。冒頭に主催者を代表して中国ブロック連合会の黒神会長、開催地の徳山YEGの栢田会長から挨拶がありました。会議では、黒神会長が議長に就任、定足数の確認、議事録作成成人並びに署名人を指名の後、議事に入り、まず規約の一部改正の件について議長から説明があり、原案通り承認されました。引き続き平成19年度事業報告並びに収支決算について杉本前会長から説明があり、原案通り承認されました。平成19年度中国ブロック大会東広島大会の開催報告並びに収支決算の報告があり、いずれも原案通りに承認されました。次に平成20年度当連合会スローガン並びに基本方針、事業計画、収支予算について、黒神会長より説明があり、全会一致で承認されました。引き続き平成20年度中国ブロック大会徳山大会の開催要綱(案)並びに収支予算書(案)の説明、平成21年度中国ブロック大会の開催地について島根県青連の大田YEGが主管することの報告、平成22年度中国ブロック大会開催県として鳥取県が発表され、いずれも原案通り承認されました。暫時休憩の後、同会場で日本YEG上田専務理事の進行で第1回会長会議が開かれました。夕刻から、遠石会館内で会場を移動して懇親会が開催され、アトラクションもあり、全国大会・中国ブロック大会のPR隊も大勢駆けつけ、参加者相互の親睦交流が図られました。



6月14日(土)

### 北陸信越ブロック会長会議／富山県・滑川

北陸信越ブロック商工会議所青年部 平成20年度定時総会並びに会長会議が、6月14日に富山県滑川市の滑川商工会議所で開催されました。

参加人数は、定時総会が約60名、会長会議が約100名でした。総会では、最初に来賓である滑川商工会議所 齊藤会頭よりご祝辞を頂いたあと議事に入り、第1号議案で平成20年度の新しい会長に滑川商工会議所青年部の荒木利文君が満場一致で選出されました。その後、平成19年度の事業報告と決算報告、平成20年度の事業計画と収支予算などの説明があり、原案通り承認されました。休憩後、同会場で第1回会長会議が開催されました。場所を移しての懇親会では、滑川YEGのブロック大会のPRが、メンバーによる吹奏楽団付きで行われ、大いに盛り上がりました。

#### 荒木利文ブロック代表理事より

『自分としては、今はまだ、ブロック大会の実行委員長という想いが強いです。しかし、今日からはブロック会長として皆さんの協力を頂きながら頑張りたいと思います。』



6月20日(金)

### 東海ブロック会長会議／三重県・桑名

東海ブロック商工会議所青年部連合会会員総会が6月20日(金)に桑名市市長島防災コミュニティセンターにおいて開催された。総会登録者数150名のもと、多田道子東海ブロック商工会議所青年部連合会会長が議長に選出された。議案としては、第20回東海ブロック大会豊川大会の事業報告ならびに収支決算、平成20年度東海ブロックYEGスローガン・所信、事業計画ならびに収支予算、平成20年度東海ブロックYEG親睦交流会開催などの承認に関する9つの議案が上程されすべて承認された。今回の承認により東海ブロックYEGの事業計画として新たに東海ブロックYEGのHPを中心に情報提供を行う「広報支援室」とビジネス交流を模索する「ビジネス交流推進室」を設置し、活動を展開する事や次回の東海ブロック大会が三重県桑名市で開催されることが決まった。報告事項として、常滑YEGの東海ブロックYEGへの加盟承認の件が報告された。各単会活動報告においては活動計画書に基づいて各単会会長から1年間の活動方針について説明がなされた。会長会議においては184名の登録者数のもと平成20年度日本YEG事業紹介・委員会紹介に続いて全国大会大津びわ湖大会・全国会長研修会のPRがおこなわれた。懇親会においては場所を桑名シティホテルに移して、214名の登録者数のもと盛大に開催された。

# 工藤会長と野中ともよ氏との対談①

日商の環境行動計画を考える

プラス

## +1を広げよう!

地球環境問題が取り沙汰されている昨今、日本商工会議所でも環境問題を重要事項と捉えて数多くの活動を行っています。そんな折、7月に工藤会長と野中ともよ氏との対談が行われました。野中氏は日本YEGがH15年度にスタートしたYEGビジネスプランコンテストの第一回目の審査員をしていただいたりとYEG活動に理解が深く、いろいろな支援をしてくださっています。危惧される地球環境問題を熱く語られています。

(工藤会長/以下:工藤)

商工会議所でも環境活動に積極的に貢献していかなければいけないと考えており、日本商工会議所(以下日商)では、6月の常議員会でCO<sub>2</sub>削減やエネルギー消費量の削減等に向けた「商工会議所環境行動計画」を決議いたしました。

(野中ともよ氏/以下:野中)

工藤会長自身はどう思われますか?CO<sub>2</sub>削減が必要だと思われますか?

(工藤)

それだけが問題とは思いませんが、日商からも様々なメニュー提示がされているので活用し、組織としても一企業、一個人としても積極的に取り組んでいきたいと考えております。

(野中)

そうですね。これからの未来を考えると、組織として、環境に対して何をするか、何ができるかをどう気づくかで商工会議所の在り方そのものも変わってしまうほど大きな要素であると私は考えます。工藤会長のご本業とも、随分関係がありますよね(笑)

(工藤)

はい、大分でタクシー会社を営んでおります。まさに直面課題といえると思います。

(野中)

タクシー会社で言えばLPガス。車社会を支えるのはガソリンなど炭素系のエネルギーですよね?あと70年もすると、それらのエネルギーはなくなると言われます。運輸会社はやっていけるのでしょうか?なくなってからでは遅いんですよね?

(工藤)

そうですね、今のうちにハイブリット車やLPガスの導入等も含めて積極的に取り組みたいと考えています。それには大企業の協力も不可欠ですので、大企業が中小企業に資金・技術を提供することで削減したCO<sub>2</sub>を大企業自らが削減したとみなす「国内クレジット制度」の導入も積極的に推進したいと思います。

(野中)

実際に原油、石炭に限りがある、もう100年はもたないというのが世界中の科学者の共通の見解です。100年後は自分たちには関係ないと思うのか、次世代を思って行動するのか。ピークウォーターという言葉もあります。地球全体で水そのものが枯渇している状態を言います。何が言いたいかと申しますと、こうした地球環境の現状から未来を直視してみると、20世紀の高度経済成長の頃の商工会議所と今とでは明らかに役割やミッションが変化してきているということです。

皆さん方、地方の名士の方たちがリーダーシップをとって、本当に生まれてきた命が「ああ生きて良かった」と思えるようなインキュベーターというカテゴリーを地域社会で作るための、商工会議所という全国の組織。この組織を利用して自分たちの地域を豊かに創り直す、ということが大切だと思うのです。そのためには、食料自給率問題、エネ



ルギー自給率問題、700兆円以上の借金問題の3点が重要だと考えます。

我が国では60%の食料、99%のエネルギーを海外に依存しており、とんでもない額の有利子負債を抱えています。しかも、都内の交通渋滞で検知する汚染物質よりも富士山の頂上を通るそれの方がはるかに濃度が高いという世界。これは日常生活そのものが、我が国の営みだけでなくインド、中国の人々の営みとも連動し合っている事実です。すでに地球全体の空気、水の問題なのです。ですから、まず“地球人”、そして日本人としての自分と同時に、地球人としての視座を忘れず「今、できることを1つずつ」している、という捉え直しが大切だと思います。

(工藤)

たしかに、そうですね。私が子どもの時と今とでは自然環境が劇的に変化しているのを感じます。人類の生存基盤に関わる最重要問題だからこそ、組織としても、一企業、一個人としても「今、できることを1つずつ」…非常に大切ですね。

(野中)

既に30年以上も前になりますが、ジャーナリストをやっている時、産婦人科学会で正常な子どもが生まれてくる確率が減少し、受胎能力も落ちていて、男性の精子の数も激減しているという事実を聞きました。命そのものが危なくなってきたのです。防癌剤、酸化防止剤、着色剤などありとあらゆるところで20世紀の便利さや当たり前が私たち自身の命の首を絞めている、という話を聞きました。世界中の科学者たちが地球温暖化、土壌汚染、海洋温度上昇、あらゆる場所でもないことが起きていると言う発信をしています。この状況下で先ほど申し上げた3点。借金もそうだし、食べる事自体も大変な状況の国の未来について商工会議所は、オピニオンをしっかりとりまとめたり情報交換をしたり、行動を喚起していく場になっていただけたらと思います。

(工藤)

先日、北海道・帯広で、帯広商工会議所青年部などの主催で開催された十勝ローカルサミットには野中さんも参加なさったということですが、環境、経済、金融、食、教育という議題を軸に行っていましたね?

(野中)

楽しかったですよ(笑)。地域社会作りというのは国際化と無関係ではなくて、地球のアンテナで降る雨のことを考えたり地球的視野を持つことが成功のカギになる。商工会議所でのYEGの存在はまさに次代を担うビジネスリーダーの会ですよね?まさに21世紀の工藤さんは新しい基盤を作れるポジションにいらっしゃると思います。貢献するために楽しんで新しいことをやっていただきたい。それを期待しています。ということで、会長からの所信表明を伺いたいと思います。(笑)

(工藤)

地球の自然環境が危機的状況にあることは、各国の首脳も様々な企業のトップも個人的には認識しているはずですが、どうしても自国・自社の現状の財政・経営状況等に囚われ、目先の利害関係を主張し合っている状況にあるようです。しかし、これは国や大企業だけの話ではなく、地方自治体や、地方の中小事業者など私たちの身近な所でも同じような状況が生じており、個人の思いや考えと、組織・団体としての発言・行動が全く逆になることは少なくありません。商工会議所と青年部はこの「対立意識」を超えた新たな関係を模索し、また地域に向けて発信したいと思います。今、おっしゃったことももっともですね。食の問題1つをとっても、自分たちが食べる米も減反減反で政府は作らせていないって…。

(野中)

作らない人にお金あげてらって変だと思いませんか?これは未来のことを考えて政策が立てられてなかった結果ですよね。個人の権益ばかりで先のことが考えられないという…「本当にこのままでいいのか、変えなくてはいけないのか、みんなどう思う?」そういう集まりにしていきたい。それこそが真のリーダーシップのほうですから。ところで会長としてのミッションは?

(P11へ続く)

## 工藤会長と野中ともよ氏との対談②

(工藤)

主にビジネスのことで。やはり食べていかんと…(笑)

(野中)

もちろん。そう、お金は大事です。それは社会の共通の言語ですからね。でも、この「お金」が社会すべての目的になってしまっているとかわれませんか？そこが問題です。

(工藤)

確かに、最近では様々な分野で不祥事が続き、真の経営者とは何かもう一度問いたいです。と、事業計画として取り組もうとしているんです。

(野中)

すばらしい事だと思います。そう、それは私たちは何のために仕事してるのか？という問いだけでも必要ですね。会長は？

(工藤)

まず、生活のためですね。自分の家庭、家族を養う糧ですね。あとは、地域社会へどう貢献していけるかという…。

(野中)

糧という話が出ましたが、皆さん「もしも」の時に残される家族を考えて貯蓄をする、あるいは財産を作っておく。そのために必死で働く。でも、ある時気づくんですね。とりわけ、病や事故にあったりすると…。生きてるだけで素晴らしく幸せなんだ、という一番大切で、本質的な価値に。例えば会社が破産したって、「お前がいてくれさえすればいいんだよ」という他者との関係の中で命の幸せを味わうことができる。社会や世間体といった中で比較じゃなくて、元気に酒が飲めて、元気にご飯が食べられて、元気に愛し合えて、元気に笑えるってそういう仲間が一番大事な、生きていくことのメモリアルなこと。それを一番最小単位が家族であるし、それが集まる地域社会のリーダーがYEGメンバーですから。お金も大事ですが、お金は人生の目的ではなく、お道具。手段のひとつでしかない。つまり、お金がなくても幸せだよっていう働きかけを地元で作ってしまおうリーダーたちが、あちこちに生まれてきたら、そのピースピースが連なって、ジグソーパズルのように幸せな日本になると、私は思っています。是非、それを商工会議所のミッションにしてほしい。

(工藤)

私はラグビーをやっております、ポジションとしてもスタンドオフ(SO)という「つなぎ役」をしています。先程のお話にもあった「生きる価値」というものを他者へとつないでいきたいですね。

(野中)

まさにそれです!“one for all, all for one!”比べるよりつなぐ。昇るよりつなげる。昔は常に昇っていかなくてはならないという強迫観念みたいなものがありました。経営者としても売上高を伸ばす、国としても成長率を上げるという。ところが資源にしても何にしても限りがある。今、地球の人間社会はまさに次のフェーズへ成長しなければいけない時期にあります。無駄にせず使い回さなければいけない。まさに“つなぐ”ことが重要です。例えば、酸素のかけりが見えてきたら、少ない酸素で生きていく仕組みを作るぞ、ということはその仕組みを作った人がお金儲け出来ることにもなるよ、という話しでもいいと思うんです。

(工藤)

資源の問題にしても、今の日本には危機感がないですね？

(野中)

危機感日本人が一番持たなくてはいけないものですよ。ドイツでは太陽光発電の導入が進んでいます。国民の屋根の上で少なくとも自分の家の冷蔵庫やテレビの電力ぐらいは太陽からもらいましょう。元々この太陽光発電の機械や技術は日本製ですよ。日本の太陽光発電協会会長も務めておりましたが(笑)。太陽はなくなる、原油はなくなる…。そこでドイツでは、技術力、製造力は劣っても明確な未来に向けてのビジョンを持つリーダーが登場してそういう動きが変わるんです。一方、フランスは原子力発電です。エネルギーを他国に依存するってことの恐ろしさを知っていますよ。フランスでは、

クリーンエネルギーでエネルギー自給率は2年後には100%以上になります。日本は、90%他国から買っています。しかもそれがもう地球上からなくなるという…。それでも対策どころか太陽光発電を普及するための助成金をなくしている。たとえば、商工会議所でもこんなエネルギー問題の現状をどう考えるか？というようなアンケートを投げてみるとか、そういう事をしてもらいたいです。危機感がないのは情報がない事と同じですよ。具体的に何か一つずつでもやっていけばいいと思うんです。みなさんの地元が変われば地球が変わるんです。だからYEGのやることって山ほどあると思います。地球規模で一体何が起きてるんだらうって知ろうとするアンテナが必要なんです。地球人を育てる大元は地元の田舎者を育てる事です(笑)。地元を愛する田舎者が地球人を作る。究極な田舎者を育ててそこに情報を与えて情報を学ぶ。情報の中でも一番大事なのはそこに住むおじいちゃん、おばあちゃんの文化、知恵。それを子どもたちに教える事です。また、スポーツであたり祭りだったりという場所を作ってあげる。足腰を強くしないと駄目ですよ。それこそラグーマンのような足の野太さが必要です。強い子どもたちが育つと地球のことを考えられるリーダーになれる、そういう仕掛けをYEGが先頭に立って作ってほしいと思います。それがミッションなのかもしれないですよ。地元の子どもの未来のためにも。

(工藤)

ビジネスを通しての子どもの交流は行っているんですが、環境活動に関してはまだまだ不十分ですね。それでも昨年、日本YEGで毎年開催しているビジネスプランコンテストで、石川県白川YEGのメンバーである細川君がLPガスとガソリンを併用したハイブリッドECOカーを普及するプランでグランプリを受賞したりと、少しずつではありますが、拡がりがあります。

(野中)

そういう地元の小々な環境活動でも心を尽くし、お金と時間を費やすビジネスをすると、逆に、それが世界から注目を浴びるビジネスになる。今、世界はそういうものを求め始めています。オイルマネーの王様たちは、いずれ油がなくなる事を一番分かっているから、いち早く脱原油のテクノロジーに投資をするわけですよ。だからその白山にオイルマネーが来るかもしれない(笑)。

(工藤)

先程のドイツの話ですが、なぜ日本では太陽光発電をしないのでしょうか？太陽は同じように降り注ぐんですから。こんなに良い政策があっても技術的にも特化しているというのに。

(野中)

まずは、日本国として未来のエネルギービジョンを創ろうとする、政治のリーダーがいない。加えて、大人びた業界間の力関係といったことが絡んでいるかもしれません。そして、もうひとつ、電力会社が気にするクオリティーの問題です。電力会社が安定した電力を供給することを最優先に考えているからです。系統連係にいろんな電気は混ぜたくない。しかし、いつまでもそんなこと言っていられないですよ？実際にドイツでは、日本の技術を使ってそれができているんですから。いずれにせよ、危機感がないっていうのが全てだと思いますよ。

(工藤)

全国のYEGが集まって、中小企業の技術・知恵を出し合ったら素晴らしいビジネスモデルも作れると思うんですが、そのような背景がある現状では難しいですね。

(野中)

確かに、そうかもしれませんが試す価値はありますよ。例えば、電機メーカーでのことで、地球が喜ぶ充電電池をつくらうと商品名からデザインから手がけましたが、デザインひとつ、多くの規制しがらみがあって大変でした。しかし、必要だと思ったらやる。それがプラス1。マイナス6%っていう言葉がありますが、環境にいいことをするというのは我慢すること、という印象がある。我慢大会って続きませんよね。人間にとって続くことは楽しいこと、嬉しいこと、みんなに広げたいようになること。だからプラス1という言葉を広めよう。サッカーの中田英寿氏も「それはいいですね」と彼は世界中から友達を集めてのチャリティーマッチに「+1 マッチ」という名前をつけてくれました。それが彼のプラス1です。

難しく思わずに環境に良いと思う事を1つやればいい。工藤会長のちょっとした太陽光発電を全国のYEGで声かけてみたら全国に太陽光発電の代理店をやられている仲間がいるはず。助成金の問題やビジネスとしての転換などいろいろ意見が出てくるはずですよ。

今、日本では2050年に向けて60%~80%、二酸化炭素削減をするというコミットメントを出した。守れないとペナルティーがある。そのお金を払うことを考えたら助成金を促進させるべきです、その助成金にしても私たちの税金です。タックスペイヤーの意見を発露していかないとダメなんです。民度が低いと民度の低い政治しか持てません。ですから、声をかけていきましょう。「命が喜ぶことなんです」とそれがリーダーシップです。未来の子どもたちや未来の地球やこの汚れている今の状況に何か一石を投じることで正しい、必要なことなんです。各経営者がそれを考え始めたらそれだけでYEGのメンバーだけでどれだけ日本の未来を明るくできるか。まずは10分早く寝る、とか、歯を磨く間蛇口を止める、これもプラス1。今日、自分のプラス1は何だらうって考えるだけでもいいと思うんです。考えて行動する。それは収益に結びつくという方向にもいいんです。それでどれだけCO2が減るのか？ということもさることながら、それは「生きていく礼儀作法」として大切なことだと思うんです。是非ともプラス1を広げていってください。地域も子どもです。社会も子どもです。子どもたちがワクワクするような社会を作って下さい。それができるYEGのポテンシャルは非常に高いと思いますよ。

(P12へ続く)



# 工藤会長と野中ともよ氏との対談③



(工藤)  
十勝ローカルサミットでの活動はそういった意味でも楽しいものになったみたいですね？

(野中)  
十勝に集結したあほ軍団(笑)、あほってのは「熱く惚れる」って書くんですよ(笑)。皆さん目が輝いて、熱く惚れる人達ばかりで。自分にしかできない熱惚ぶりを出しあう。これがいんですよ(笑)。かっこつけずに。熱惚を極めてほしい。生きてて良かった出会えてよかった。かっこつけてると長続きしないし…。突然ですが、工藤会長は大きくなったら何になりたいですか？

(工藤)  
もう大きくなってしまったんで(笑)

(野中)  
この中で私が一番年上だと思えますが、私はやりたいことがいっぱいあるんです。一度きりの人生ですからね。地球のぜーんぶを見たいし、アフリカへ行って動物の監視員もやりたいんです。朝起きたらすぐ近くに象がいたりっていう。

(工藤)  
そうですね、大人になってほしいこと、なりたいものはありますよね。

(野中)  
やりたいと思うことはやらないと(笑)。少しやればきっかけができるから。そういうワクワクする大人が地域に一人でも増えると子どもたちがワクワクするから。今でもラグビーはやってらっしゃるんですか？

(工藤)  
やってますよ、チーム作ったり子どもたちに教えたり。

(野中)  
それは素敵ですね。工藤会長は満たされていますね。

(工藤)  
それと今は青年部の活動が多くて。会議自体の在り方も、もう少し考える必要を感じているところです。

(野中)  
くだらない会議はやめましょうよ(笑)

(工藤)  
そうですね。日本YEGの役員会も短時間で終わらせたいのですが、とにかく議題が多すぎる。ATというグループウェアを利用して、事前の資料提示、議論を充実させ、少しでも効率化を図ろうと努めています。

8月には、会員総会をWeb総会というスタイルをとって行います。全国400の青年部の会長さんにどこかに集まってもらうのではなく、Web上で事前に資料を公開し、質疑応答、決議まで行います。

(野中)  
すばらしい!まさに低炭素化社会の具現化ですね。モノは言いようで、会う必要ないよと言うと角が立つけど、「低炭素化社会を目指しましょう」って言うと、みんな良い気持ちになれる。命の本音ってものすごく大事。もっと楽しいことに時間を使おうとか、リサイクルやってる人で情報を共有しましょう?とか。そういうことが許されない状況って窮屈ですよ?本気で自分が辞めたいと思ったら辞めるはずですよ。そこで本当は辞めたくないことの多さを理解してしまう。そうするとそのありがたさに気付く。日本社会はやはりお金のコネティング、効率、経済性、合理性で決まり事を作ってきてそれが破綻し始めてる。燃料が高くなってやっとならぬ、そのありがたみに気付く、そこで1つ考える。そしたら少しは歩こうかなって。これは、メタボ対策にもなりますよね?1個だって言ったのが足し算になる。引き算で我慢するんじゃなくて1個ずつ前に出て、熱惚のみんなで汗を流すことってYEGは得意ですよ(笑)?あと任期はどのくらいですか?

(工藤)  
来年の3月末迄ですから、7ヶ月と少しですね。

(野中)  
これは大改革できる(笑)とにかく本音でやって下さい。そのかわり必ずたたかれますよ。本音でやるってことはたたかれます。でも、いじめられたり、足をひっぱられるぐらいのことをやらないと改革にはならない。そのかわりそれを支える自分は、命の本音に正しいこと。文書作成1つでも合い言葉は「低炭素化社会」とか言って(笑)これができたら地球に通用するYEGになりますよ、きっと。

(工藤)  
そうですね、ペーパーレス対策の1つとして我々も書類を極力減らすようにしています。

(野中)  
本当にいい時代が始まったと思えばいい。燃料が上がったし。何のためのいい時代かっていったら変えるために、とてもいい時代ってことです。資源の問題ひとつとっても、否応なくYEGは変わらなきゃいけないという時代からのメッセージですからね。いろいろ伺って工藤会長はチャレンジャーだとわかりましたし、それができると。

(工藤)  
私も言いたいことは言う方です。全国から私を支えてくれるYEGメンバーが140名も出向していただいています。彼らを中心に400の団体に「つなげて」プラス1をやっているように思います。また何かありましたら勉強させてください。

(野中)  
工藤会長はすごくエネルギーがある(笑)。ラグーマンがやってるってすごい。絶対強いですから、楽しみにしていますね。でも、一番大事なのは笑顔。これがお金よりも何よりも一番幸せになる大もとですから。頑張れ!工藤会長!

(工藤)  
はい、皆さんに支えられながら頑張ります。今日は勉強させていただきましてありがとうございます。

## 【野中ともよ氏プロフィール】

NPO法人ガイア・イニシアティブ代表・ジャーナリスト

上智大学大学院文学研究科前期博士課程終了。

1979年より、NHK・テレビ東京等で多数の番組メインキャスターを務める。  
2001年4月～2005年3月  
日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社 理事長。  
2002年3月～2007年3月  
アサヒビル株式会社 社外取締役。  
2002年6月より三洋電機株式会社 取締役。  
2005年7月～2007年3月同社代表取締役会長。

また、財政制度審議会、中央教育審議会などの政府審議会委員、  
NPO法人金融知力普及協会理事、  
NPO法人スペシャル・オリンピック顧問等も歴任。  
著書に、「心をつなぐ生き方」(サンマーク出版)  
「私たち「地球人」」(集英社)ほか多数。  
2007年8月NPOガイア・イニシアティブ設立。  
代表を務める。



## NPO法人ガイア・イニシアティブ

NPO法人ガイア・イニシアティブは、「すべての社会生活にG軸を取り戻す」ために、個人や企業に対して、さまざまな啓蒙活動や支援活動を行う非営利団体です。  
<http://www.gaiainitiative.org/>  
ガイア・イニシアティブでは、いのちにとってなくてはならない4つの要素を守るためにアーティスト、企業経営者、NPO、研究機関の皆様たちとのコラボレーションを通じて、さまざまなプログラムを展開していきます。

4つの要素

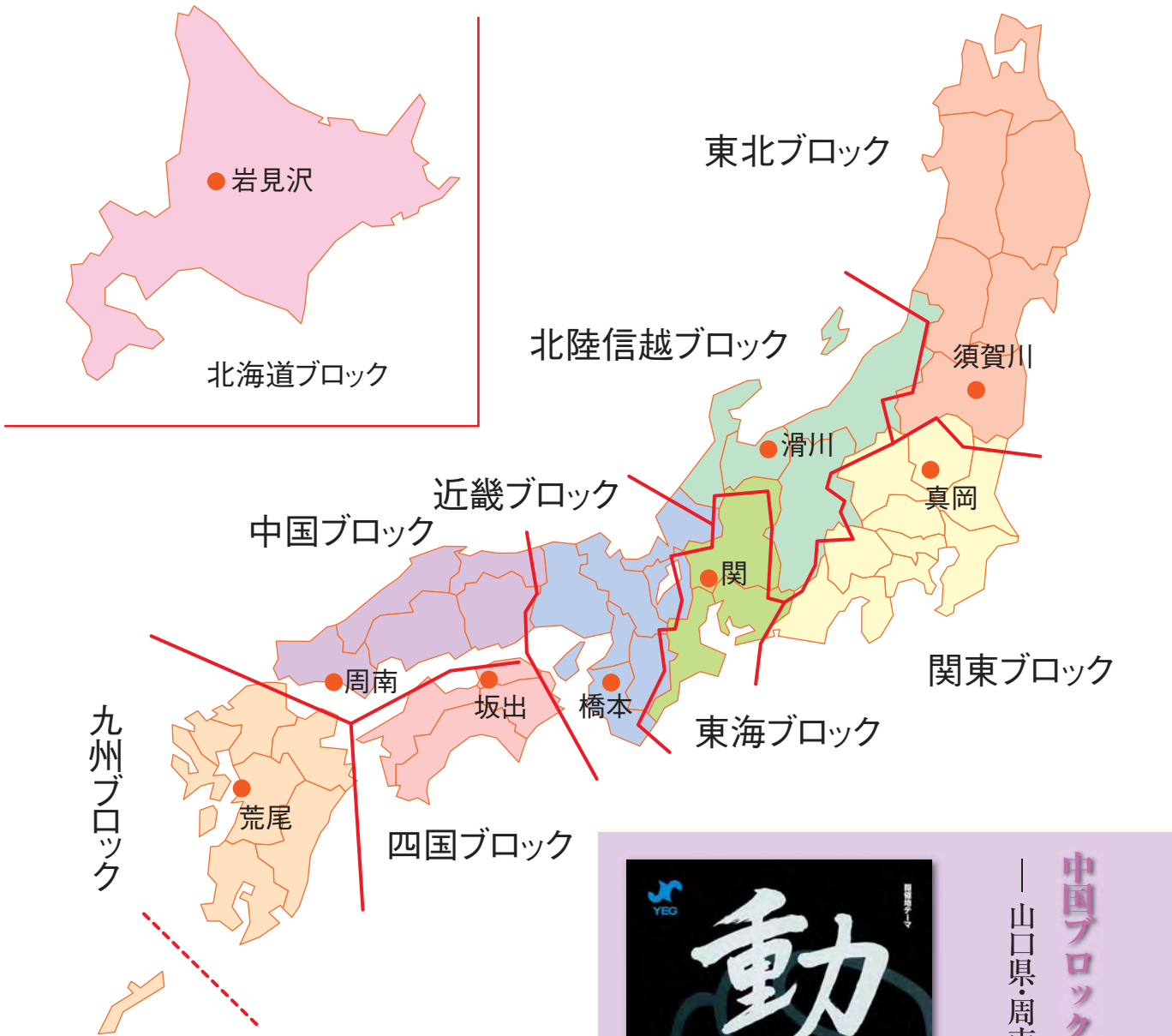
- 水
- 空気
- 食糧
- エネルギー

アーティスト  
デザイン  
集めて、創ること

地域  
地域の生活者と一緒に学ぶ

- ガイアプラスワンプロジェクト  
～地球のために、ひとりひとつ～
- プラスワンの森  
～あなたも、森をつくれます～
- まもりたい地球  
～あなたが未来に伝えたいものは何ですか?～
- ガイア・ヴィレッジ・プラットフォーム  
～あたらしい技術と、古からの村の知恵を、つなげよう～
- 触れる地球  
～あなたの手で地球に触ってみませんか?～

# ブロック大会①



# ブロック大会 2008



中国ブロック大会  
— 山口県・周南 —  
9月5日(金)～6日(土)

## 分科会

- 1「聴」 生きるこの意味を問いかける
- 2「触」 ふれあいと歴史
- 3「視」 次世代コンビナートの未来
- 4「味」 延縄漁発祥の地を味わう
- 5「想」 周南冬のツリまつりから考えるまちづくり



# ブロック大会②



27th YEG Block Conference  
Sakai Region  
2008.9.6(土)~7(日)

## 四国ブロック大会

— 香川県坂出 —

9月6日(土)~7日(日)

日本商工会議所青年部  
**第25回四国ブロック大会 坂出大会**

2008.9.7 sun  
YEGの夢をつなぐ、次代の四国

記念式典  
13:30~14:20 坂出市民ホール

記念講演  
14:30~16:00 坂出市民ホール  
浅野 史郎 (あきの・しろう)

分科会  
16:20~18:40

物産展 施設ランドホテル  
大懇親会  
19:00~21:00 坂出グランドホテル

**分科会**

- 1 技をつなぐ分科会
- 2 食をつなぐ分科会
- 3 心をつなぐ分科会

片岡篤史氏講演会



26th YEG Block Conference  
Sakai Region  
2008.9.12(金)~13(土)

## 近畿ブロック大会

— 和歌山県橋本 —

9月12日(金)~13日(土)

近畿ブロック精工会館青年部連合会、日本精工会館青年部  
**第26回近畿ブロック大会 橋本大会**

2008.9.12 13  
YEGの夢をつなぐ、次代の近畿

記念式典  
13:30~14:20 橋本市内

記念講演  
14:30~16:00 橋本市内  
野村 忠宏 (のむら・ただひろ)

分科会  
16:20~18:40

物産展 施設ランドホテル  
大懇親会  
19:00~21:00 橋本グランドホテル

**分科会**

- 1 紀州・木の国地ビールと温泉で癒され体験
- 2 「フルーツ王国さほく」紀州農園体験
- 3 世界遺産「霊峰高野山への参拝」
- 4 超迫力チェーンソーアート 世界チャンピオンにより実演
- 5 紀州へら竿を使っの プレミアへら鮎釣り体験
- 6 写し癒されましよう! 写経で脱煩惱
- 7 野村忠宏講演会



New Impulse  
27th YEG Block Conference  
2008.9.19(FRI)~21(SUN)

## 東北ブロック大会

— 福島県須賀川 —

9月19日(金)~21日(日)

日本精工会館青年部  
**第27回 東北ブロック大会 「須賀川大会」**

2008.9.19 20 21  
YEGの夢をつなぐ、次代の東北

記念式典  
13:30~14:20 須賀川市民センター

記念講演  
14:30~16:00 須賀川市民センター  
宮崎 啓 (みやざき・けい)

分科会  
16:20~18:40

物産展 施設ランドホテル  
大懇親会  
19:00~21:00 須賀川グランドホテル

**分科会/須賀川塾**

- 第1塾 「企業理念」
- 第2塾 「事業再生・起業」
- 第3塾 「事業承継」
- 第4塾 「ホスピタリティ」
- 第5塾 「グローバル化」



28th YEG Block Conference  
Hokuriku Region  
2008.9.25(日)~27(土)

## 北陸信越ブロック大会

— 富山県滑川 —

9月25日(日)~27日(土)

北陸信越精工会館青年部連合会、日本精工会館青年部  
**第28回北陸信越ブロック大会 滑川大会**

2008.9.25 26 27  
YEGの夢をつなぐ、次代の北陸信越

記念式典  
13:30~14:20 滑川市民センター

記念講演  
14:30~16:00 滑川市民センター  
宮崎 啓 (みやざき・けい)

分科会  
16:20~18:40

物産展 施設ランドホテル  
大懇親会  
19:00~21:00 滑川グランドホテル

**分科会**

- 1 水で物を切る「超」技術 株式会社スギノマシン
- 2 天然生簀 ~富山湾~
- 3 神秘的な海 富山湾さときと街道 ~滑川のホタルイカを全国に~

# ブロック大会③



## 北海道ブロック大会 — 北海道岩見沢 —

10月3日(金)～5日(日)

### 分科会

- 1 バラ園他市内視察
- 2 IT関連施設見学
- 3 地域ブランド「講師」(ホテルサンプラザ)



## 九州ブロック大会 — 熊本県荒尾 —

10月9日(木)～12日(日)

### 分科会

- 1 小代(岱)焼 窯元めぐり・陶芸体験(箸置き制作)
- 2 国指定重要文化財・史跡「万田抗跡」視察
- 3 宮崎兄弟(滔天)資料館視察・伝統芸能風流見学
- 4 パネルディスカッション  
テーマ：[地域再生事業とは何か]
- 5 来なっせ!見なっせ!食べなっせ!  
わが町の特産品・地域ブランド・玉名ラーメンの挑戦～
- 6 心温まる 山麓史探訪



## 関東ブロック大会 — 栃木県真岡 —

10月17日(金)～18日(土)

### 分科会

- 1 真岡でもおかる講演会
- 2 真岡木綿体験
- 3 真岡鐵道SLに乗ろう!
- 4 絶対商売に役立つビジネススキルアップ研修
- 5 益子焼陶芸体験



## 東海ブロック大会 — 岐阜県関 —

10月24日(金)～25日(土)

### 分科会

- 1 企業の源は、社員にあり!!  
～国の礎であるということ～
- 2 Katarī ～国際人としての教養を高める～
- 3 一心不乱 ～研鑽に努めるということ～
- 4 鍛えろ!そして研ぎ澄ませ!  
～文化を伝承しつつ新しい文化の創造に向かって～
- 5 オンリーワン!!  
～1本のナイスに創意と工夫、男気と情熱を傾ける～
- 6 本流  
～支那の流が東海ブロック/EG流ビジネスここにあり～

## 第28回 全国大会 びわ湖大津大会①

こころ

あきんどう

# 湖来路でつながる商人道

人によし、街によし、未来によし ～YEG賑わいへのみち～



滋賀県商工会議所青年部は、本年11月6・7・8・9日に、日本商工会議所青年部第28回全国大会「びわ湖大津大会」を開催させていただきます。われわれは、この「びわ湖大津大会」開催を目標に平成10年から誘致をはじめました。そしてついに夢が現実となり本年の開催を迎えることができました。私たちは、この誘致活動において、苦節10年ではなく楽しい10年として、たくさんの友人を全国各地に持つことが出来たことに感謝しております。今年度の日本YEGスローガン「Let's TRY!YEGスクラムでビジネスフィールドを突っ走れ」、会長所信「One for all, All for one」を受け、「売り手よし、買い手よし、世間よし」の「三方よし」の理念から、「湖来路(こころ)でつながる商人道(あきんどう)」をキャッチフレーズとして、近江商人の発祥の地である「滋賀」から、ビジネスの原点を見つめなおしていただける場や、未来を想像していただける場をさまざまな「みち」をキーワードに表現するように企画しております。「商人道」を全国YEGメンバーに発信し、共に賑わい、研鑽と交流をすることで、全国それぞれの地域発展への道が開かれると確信しております。全国のYEGメンバーの皆様、OBの皆様、そして関係者の皆様におかれましては、水の都「滋賀」にぜひお越しください。滋賀県商工会議所青年部連合会メンバー一同、「おもてなし」の心でお待ちしております。



大会会長 西居 基晴

今回で第28回目となる全国大会を滋賀の地にて開催させていただくにあたり、全国からYEGの商工人達が滋賀に集っていただけることに心から歓迎申し上げます。滋賀県は全国のほぼ中央に位置し、日本一大きな湖を有することで知られており、また、古くから西と東を結ぶ交通の要衝として栄え、近江商人発祥の地としても知られています。『びわ湖大津大会』においては、この近江商人の家訓として誕生した、売り手よし、買い手よし、世間よしという『三方よし』や、商人の心得を総称したような意味合いを持つ『商人道(あきんどう)』などをキーワードとして、楽しい時間を過ごして頂くとともに、全国のYEG関係各位の皆様、『商い』『信用』といった商いの原点を見つめ直していただけるような大会を目指しております。商工会議所活動の一翼を担い、地域の経済的発展の支えとなる我々青年部活動も確かに大切ではありますが、各々の自社活動があってこそそのYEG活動でもあります。今回の全国大会という機会を通じ、『商いの原点』とも言われる滋賀において、しっかりとビジネスチャンスも掴んでいただき、有意義な時間を過ごしていただければと思います。



実行委員長 平井 湖

そして、山と湖に恵まれた景観豊かな地において、分科会や懇親会、エクスカージョンなどのプログラムを通じ滋賀県ならではの魅力を体験していただくなど、記憶に残る企画を準備して全国の皆様のお越しをお待ちしております。

11月に、全国の皆様と滋賀の地でお会いできることを楽しみにしております!



## 第28回 全国大会 びわ湖大津大会②

全国大会びわ湖大津大会の大会概要(抜粋)です。全国の商工会議所青年部、OB・OG、関係者の皆様楽しんで頂ける様々なイベントをご用意いたしております。

### 11月6日(木) | 前泊者懇親会

びわ湖上最大の汽船ミシガンとピアンカを使った壮大なアトラクションで皆様をおもてなしいたします。ピアンカとミシガンの間に花火打上船をはさみ「心に響く秋の空」と題して花火を打上げます。



### 11月7日(金) | あきんど びわ湖商人道市/ YEGビジネス交流プラザ/OBサロン第1・2部

#### ・第1～6分科会

#### ・YEG全国ビジネス交流会

全国各地のYEGメンバーが各々の企業情報をもとに、相互の企業活動における新たな発見を求めて交流していただきます。

#### ・大懇親会

今大会のスペシャルゲスト1人目の沢田知可子さんによるディナーショーと美味しい近江のお料理で皆様をおもてなし致します。



### 11月8日(土) | あきんど びわ湖商人道市/YEGビジネス交流プラザ

#### ・記念式典

#### ・記念講演

今大会のスペシャルゲスト2人目の田原総一朗さんによる商人道の原点『三方よし』について語っていただきます。

#### ・記念事業

今大会のスペシャルゲスト3人目の稲垣潤一さんに懐かしの「ソング」を熱唱して頂き、皆様には青春時代を思い出していただきます。20年度ご卒業されるメンバーの方は最前列からご鑑賞して頂けます。



### エキスカーションI

11月8日(土) 14:00～17:30

#### bjリーグ観戦

「滋賀レイクスターズ VS 大分ヒートデビルズ」



### エキスカーションII

11月9日(日) 7:00～15:00

- ・世界文化遺産「比叡山延暦寺」  
拝観と雄琴温泉入浴
- ・近江商人発祥の地、五個荘散策と湖国料理
- ・「びわ湖大津大会記念バスフィッシング大会」

# 第28回 全国大会 びわ湖大津大会③

## 分科会スケジュール 2008年11月7日(金)

### 第一分科会

#### さんぼう どう ～三方よしで、やったる道～

<大津商工会議所青年部> 場所: 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール(大津市)

あの「逆説の日本史」で有名な井沢元彦氏による近江についての講演の後、江州音頭のエキスパートである志賀国天寿氏とのトークセッション、そして極めつけは参加者による江州音頭の体験により、近江商人の魂を堪能していただきます。



### 第二分科会

#### ひしょうどう ～世界にはばたく飛翔道～

<八日市商工会議所青年部> 場所: 滋賀県立武道館(大津市)

八日市における伝統文化をこの分科会から全国発信します。当分科会会場内には数枚の2畳・8畳疋を掲出、「大疋のまち八日市」をまずは実感ください。文化資源を「知って」いただくため、講演とビデオを使って紹介、ミニ疋を「製作」、実際飛翔を「実践」、八日市の伝統文化を見・知・触・創の融合から体験していただきます。



### 第三分科会

#### かんきょうどう ～未来へつなぐ環境道～

<草津商工会議所青年部> 場所: 滋賀県立琵琶湖博物館 水生植物公園みずの森(草津市)

母なる湖、琵琶湖…日本一の大きさを誇るその湖を、見る・聞く・触れるという体験を通じて理解し、学んでいただくのがこの第三分科会。琵琶湖博物館にて水生生物の見学・琵琶湖の環境、歴史についての講演、琵琶湖の代表植物「ヨシ」を使った笛作り、草津名物「ひょうたん」への絵付けなど、体験型の分科会です。



### 第四分科会

#### じょうすいどう ～文化を運ぶ醸酔道～

<守山商工会議所青年部> 場所: 佐川美術館 琵琶湖リゾートクラブ(守山市)

琵琶湖と比叡山を望む美しい自然環境に恵まれた守山の地で、日本を代表する日本画家の平山郁夫先生、彫刻家の佐藤忠良先生、陶芸家の十五代楽吉左衛門先生の作品を展示している佐川美術館を見学、その後水どころ、米どころである滋賀県の美味しい地酒や、鮎寿司に代表される珍味・特産品を試食していただく、芸術・食文化体験型の分科会です。



### 第五分科会

#### れきしゆめかいどう ～来て見て彦根 歴史夢街道～

<彦根商工会議所青年部> 場所: 彦根城 玄宮園 八景亭(彦根市)

彦根には国宝四城の1つ「彦根城」があります。井伊直弼の居城であった彦根城を会場に大名庭園をご覧いただきながらのお食事や琴の演奏、能舞台では狂言を堪能していただくなど、大名気分を感じていただけます。



### 第六分科会

#### さんさくどう ～長浜魅力再発見 散策道～

<長浜商工会議所青年部>

場所: 長浜ドーム～  
曳山博物館周辺～長浜港(長浜市)

豊臣秀吉がはじめて城持ち大名として治めた長浜の町並みを散策しながら、日本三大曳山祭りのひとつである長浜曳山祭りの博物館や地方都市再生のシンボルである黒壁等を自由にご覧いただけます。また、国内最大級の環境産業総合見本市びわ湖環境ビジネスメッセ2008もご覧いただけます。



## 第26回 全国会長研修会 浜松会議

# 情熱! 挑戦! 創造! 奏でようYEG交響曲

シンフォニー

～リーダー達のPRELUDE～

2009年2月20日(金)・21日(土)

浜松商工会議所青年部にとりましては平成2年の全国大会浜松大会以来18年ぶりの全国事業の主管となります。先輩達より受け継いでまいりました〈YEG Spirit〉を胸に感じながら、また『One For All , All For One』の精神のもと、全国より浜松の地にお集まり頂きましたリーダーの皆様が共に強い絆を構築し、また各々のYEGに戻られてから単会の為、地域の為、日本の為に遺憾なくそのリーダーシップを発揮できるような研修会をメンバー一丸となって準備をさせていただきます。浜松は昨年4月に政令指定都市に移行したばかりの大変活力溢れる都市です。古くは徳川家康の出世城として近代では楽器、オートバイ、自動車に代表される産業都市基盤を持ち、一年を通し温暖な気候、海と山を持ちあわせた立地は観光資源にも恵まれております。このような浜松の地で開催いたします「浜松会議」キャッチフレーズには『情熱!挑戦!創造!奏でようYEG交響曲』～リーダー達のPRELUDE～を掲げさせていただいております。浜松にお集まり頂いたリーダーの皆様が同じ立場の仲間と共に語り合い、築き上げる志と友情のもと各単会で、情熱をもって挑戦をし創造をしていく。メンバーと地域と共に成長発展を促す交響曲(シンフォニー)を奏でる為、浜松会議ではその前奏曲(プレリュード)をリーダーの皆様が気持ちをもって奏でられる研修会を準備してまいります。ぜひ浜松の地へ足を運んでください。一同、心よりお待ち申し上げます。



大会会長 松坂直和

日本商工会議所青年部第26回全国会長研修会を浜松で開催させていただき、全国の商工会議所青年部の指導的役割を担っておられる会長、次期会長予定者、及び担当事務局の、まさにリーダーの方々にお集まり下さることを、浜松商工会議所青年部並びに静岡県商工会議所青年部連合会一同心より歓迎いたします。浜松市は、本田宗一郎を生んだ"やらまいか(やってやろう!)"の町であり"音楽の街"でもあります。そこで、今回の全国会長研修会浜松会議のスローガンを『情熱!挑戦!創造!奏でようYEG交響曲』～リーダー達のPRELUDE～と、いたしました。400YEGメンバー一人一人を音符と捉え、リーダーの方々をコンダクター(指揮者)としました。コンダクターは真の経営者として情熱と挑戦の心をもって



実行委員長 柴田昌宏

たくを振るわれ各地で壮大なシンフォニー(交響曲)を創造されることでしょう。まず、浜松では前奏曲(プレリュード)を奏でるべく、様々な研修会や全国の仲間の旋律にも耳を傾けていただける交流会等をご用意いたしております。ぜひ、浜松にお越しください。お待ちしております。

## 大会スケジュール

### 平成21年2月20日(金)

**登録受付**

11:00～12:30 / アクトシティ浜松エントランスロビー

**開会式**

12:30～13:30 / アクトシティ浜松大ホール

**YEG大賞最終選考**

13:30～14:30 / アクトシティ浜松大ホール

**各分科会**

15:00～18:30 / アクトシティ浜松コンgresセンター・  
グランドホテル浜松

**大懇親会**

19:00～21:00

【第一楽章 登録者対象】  
オークラアクティホテル浜松「平安の間」

【上記以外 登録者対象】  
グランドホテル浜松「鳳の間」

### 平成21年2月21日(土)

**会員総会  
登録受付**

8:00～ 8:45 / アクトシティ浜松エントランスロビー

**会員総会**

8:45～10:25 / アクトシティ浜松中ホール

**全体研修**

10:40～12:10 / アクトシティ浜松大ホール

**閉会式**

12:10～12:30 / アクトシティ浜松大ホール

## 分科会

「積極的参加型のグループ別研修」とし、受講するだけでなく、小人数のグループ内で積極的なディスカッションを行うことで、現状のYEGから将来に向け深く考えて、意見交換する機会を提供いたします。また参加者同士のコミュニケーションの場としても位置付けて、研修会後の懇親会なども含めて同一グループを維持しながら、更なるコミュニケーションを取ることを可能としていきます。

### ♪第1楽章 ～奏でよう明日へのメロディ～

**対象者** 次期単会会長予定者・次期道府県連会会長予定者・  
次年度日本YEG出向予定者

### ♪第2楽章 ～奏でよう創造のメロディ～

**対象者** 当該年度単会会長・当該年度道府県連会会長

### ♪第3楽章 ～奏でよう情熱のメロディ～

**対象者** 熱意ある会員

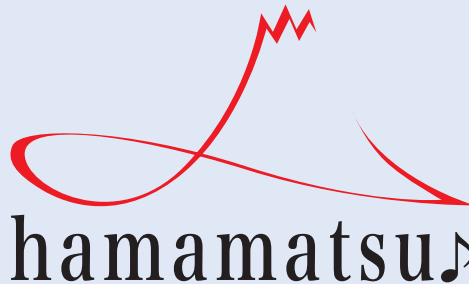
### ♪第4楽章 ～奏でよう連帯のメロディ～

**対象者** 事務局職員

**情熱! 挑戦! 創造!**

シンフォニー  
**奏でようYEG交響曲**

～リーダー達のPRELUDE～



## 第26回 全国会長研修会 浜松会議

※時間や内容等の変更がある場合がございます。最新のものはホームページで確認下さい。

## 後援事業紹介

# 商工会議所青年部 第6回全国サッカー大会/刈谷大会



▲開会の挨拶をする神谷大会会長

## お礼

大会会長 神野 公秀

平成20年6月28日(土)29日(日)に愛知県刈谷市のウェーブスタジアム刈谷、グリーンランド刈谷(2面)、デンソー池田工場グラウンド、港町グラウンド(2面)の計6面のコートを使用して商工会議所青年部第6回全国サッカー大会刈谷大会が開催されました。今大会は過去最高に上る28チーム、16の単会チームと8つの県連チーム、それに4つの単会連合チームが参加し、登録総数は593名となりました。

初日は、1グループ4チームで7グループに分かれて、予選が行われました。各グループの1位が予選通過となり、決勝トーナメントへ進みます。これで7チームが決まり、残りの1チームは各グループ2位のチームの中で平均年齢が1番高いチームとする刈谷大会特別ルールとしました。

初日は曇り空のもと、各試合会場では白熱した試合が展開されました。各グループの予選通過チームは、AグループからはFC-KIRARA(刈谷YEG)、Bグループは藤枝YEG、Cグループでは昨年の覇者、さいたまYEG、DグループはAZZURI(豊橋YEG)、EグループはエルニーニョA(日立YEG)、Fグループは春日井・犬山・小牧連合チーム、Gグループからはカルチョクラブ(古河YEG)となり、最後のワイルドカードにはCグループから平均年齢41.48歳の岡崎YEGが8つめのチームとして決勝トーナメントに進みました。

決勝トーナメントは、雨の中で行われ、拮抗した実力の中、エルニーニョAとFC-KIRARAの決勝戦となりました。決勝戦では、前半FC-KIRARAが先制し、後半はエルニーニョAが追いつくという展開で、1対1で全後半を終了、PK戦にもつれ込みました。PK戦では、各チーム5人目までで4対4と接戦を繰り広げサドンデス1本目にFC-KIRARAが失敗。見事エルニーニョAが勝利を手中に収めました。

今大会は、サッカーの街刈谷を自負する刈谷YEGが刈谷駅周辺の宿泊施設や飲食店、西三河サッカー協会及び刈谷サッカー連盟の全面的な協力のもと参加チームの皆さまにサッカーを楽しんでいただけるよう準備と運営を進めてまいりました。いろいろと不手際はございましたが、参加いただいた皆様の記憶に残る大会となれたなら、それに勝る喜びはありません。幾多の感動の置き土産、本当にありがとうございました。

## 開会式

北は山形、南は大分から全国より28チームが勢ぞろいした開会式。皆さんお忙しい中を集まって頂きました。この時点で大会は、ほぼ成功したも同然です。YEG仲間の友情に本当に感謝した瞬間でした。式典では日本YEG工藤会長、東海ブロック多田会長、愛知県連永田会長、並びに地元の来賓の方々にご臨席頂きました。感謝!



▲開会式の様子



▲日本商工会議所青年部 工藤会長の挨拶



▲昨年度優勝のさいたまYEG選手による選手宣誓



▲今回から持ち回り用として製作した優勝トロフィーは地元芸術家長谷川氏の作品です。御影石で大変重いです。写真右はMVPの選手に贈られるもので愛知県連直前会長寺田氏による陶器で作られたトロフィーです。これでビールが飲めます。



▲各選手、熱の入ったプレーを披露

## 試合風景

第1試合FC.KIRARA(刈谷YEG)vsチームKUDOU(大分・日本YEG連合)メインスタジアムでのオープニングゲームは、開催地刈谷YEGのFC.KIRARA対大分・日本YEG連合のチームKUDOUの試合でした。結果は5-0で刈谷の勝利でしたが、チームKUDOUは、急造チームながらその後1勝1健闘しました。

## キャプテン会議・抽選会

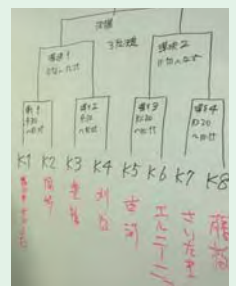
1日目の試合終了後、産業振興センターにてキャプテン会議が行われました。今回は入院者も出たために、今後の大会参加の保険の問題や、YEGとしてあくまで交流がメインであることの確認など活発な意見が交わされました。2日目の決勝トーナメントの組合せ抽選が行われました。面白いことに愛知県の4チームと県外の4チームが完全に分かれた組合せになりました。全国大会らしくなってきた明日の決勝戦は楽しみです。



▲キャプテン会議の様子



▲さて、抽選の結果は?



# 後援事業紹介 商工会議所青年部 第6回全国サッカー大会/刈谷大会

## 懇親会

刈谷市産業振興センターあいおいホールで行われた懇親会です。黒人ボーカルのオープニングに始まって、乾杯・歓談後、女性グループ・レジーナによるダンスが始まると、最後は皆でダンスで盛り上がりました。写真をご覧頂くとわかるように、疲れた顔は無く、戦いを終えて晴れ晴れとして皆楽しんでます。YEGの最も楽しいひと時です。

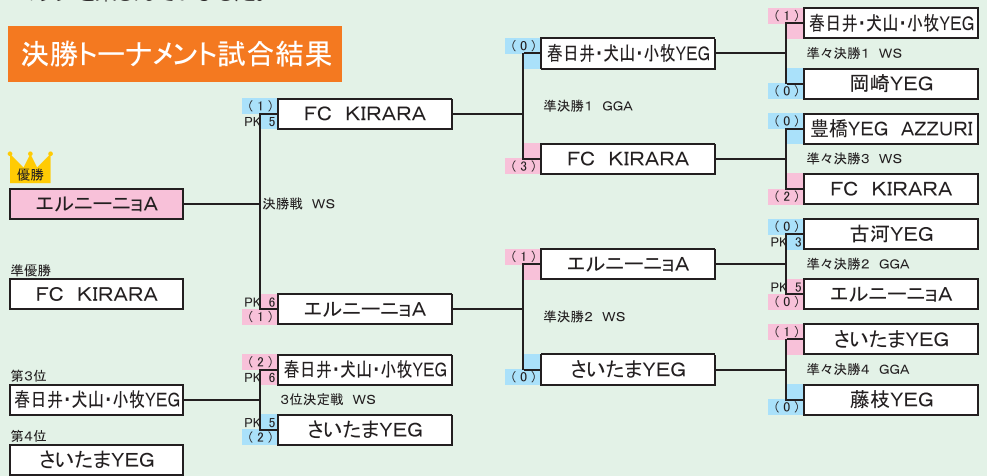


## 決勝トーナメント

2日目は天気予報どおり、大雨の一日でした。さすがに決勝に残ったチーム同士の試合は見応えのあるものでした。惜しくも決勝トーナメントに残らなかったチームも、フレンドリーマッチを楽しんでいました。



### 決勝トーナメント試合結果



## 閉会式・表彰式

雨のためにウェーブスタジアムの観覧席にて閉会式を行いました。優勝は日立 YEG のエルニーニョA チーム。準優勝は刈谷 YEG の FC.KIRARA チーム。第3位は3位決定戦で昨年の優勝チームさいたま YEG に勝利した愛知県の小牧・犬山・春日井 YEG の連合チームでした。MVP は日立 YEG の関根全崇君が獲得しました。最後に次回開催地富山 YEG の開催 PR で締めくくり大会を無事終えることが出来ました。次回は富山で会いましょう!



▲永田県連会長の挨拶



▲見事、優勝の日立 YEG のエルニーニョA チーム



▲惜しくも準優勝の刈谷 YEG の FC.KIRARA チーム



▲第3位は愛知県の小牧・犬山・春日井 YEG の連合チーム



▲MVP は日立 YEG の関根全崇君



▲次回の開催地は富山県!!

## 編集後記

インターネットの発達と共に広報委員会の委員会活動も劇的に変化を遂げていると思います。HPの作成からメールマガジンの発信、バナー広告の営業からビジネス情報誌「石垣」の誌面、YEGフラッシュの編集、そしてWEB「翔生」と、まさにメディアクロスの最先端を走っていると思われます。年2回発行予定の平成20年度版「翔生」ではタイムリーな情報は他にまかせ、工藤年度の「記録」と「記憶」に残る編集に心がけていきたいです。㊦